

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	新潟の歴史 (History of Niigata)					担当教員	遠山 典子 (トオヤマ ノリコ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目/知識定着・確認 型AL/課題解決型AL/外部 講師招聘科目
	2013-0-13-051	教養科目	選択	2単位	1年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目/知識定着・確認 型AL/課題解決型AL/外部 講師招聘科目
	2413-0-13-049	教養科目	選択	2単位	1年次	前期		

① 授業のねらい・概要						
<p>本講義では新潟県の歴史を学ぶが、高校までの教科書的な中央の政治史を中心とした視点とは異なり、県内の風土や産業、人物、伝説などを取り上げ、新潟県がどのように形成され、どういう歴史を歩んできたかを考察する。テキストや資料だけでなく、パワーポイントでの画像や、時にはビデオの視聴などを取り入れながら授業を進める。また、単に講義を受講するだけでなく、自ら主体的に学ぶための学習課題を設定する。身近な歴史・生活文化を考察するために、自己の出身地や生育歴に関するものも取りいれている。さらに、県内外の博物館、資料館、史跡などへ学生が直接足を運び、レポートを提出するフィールドワークの課題も設定している。単位修得レポートは、各個人の興味・関心にもとづいた地域探訪の計画・事前資料の作成および実施・報告（発表・レポート提出）であり、自己評価も行う。また、特色ある外部講師の講義も設定している。</p>						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
地域社会に貢献する姿勢/情報収集・分析力/専門的知識・技能を活用する能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
<p>基本的には、配布資料とパワーポイント等により解説する講義形式である。授業はあくまでも、学生の主体的な学びの導入であり、そこから興味を持ったテーマに関する学習課題の作成・提出が重要である。評価は、課題と単位修得レポートを中心に行う。</p>						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
他の地域志向科目と関連しているので、併修が望ましい。						
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。						
特にもうけない。各回、資料・レジュメ等を配布する。						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
<p>田中圭一他『新潟県の歴史（県史15）』山川出版社（2017） 『図説 新潟県の歴史（図説 日本の歴史15）』河出書房新社（1998） 『図説 長岡開府四百年』株式会社 いき出版（2018） 『新・にいがた歴史紀行（全12巻）』新潟日報事業社（2004）</p>						
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）						
<p>この授業は新潟県の歴史について学ぶが、教室だけの講義にとどまらず、個々の興味・関心に基づいて、積極的に地域の史跡や歴史遺産、博物館、資料館などに出かけたり、自分史を掘り起こしたりして、自らの体験に基づいた歴史を学んでほしい。なお、各回の学習課題や単位修得レポートの提出などかなりハードな学習が予想されるので、安易な気持ちではなく、しっかりとした覚悟を持って選択してほしい。皆さんの課題やレポートを読むのが楽しみである。（歴史オタク歓迎）</p>						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
<p>(1) 講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいる。 (2) 興味を持った人物や事象について、課題として調べまとめる。 (3) 自己のテーマに基づいた見学コースを作成し、実際に行って見学・体験し、良かった点や問題点などをあげ報告（発表・提出）し自己評価する。</p>						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいる。	授業内容に関する自己の見解や感想から、関連文献や歴史事象を調べる。	授業内容や資料を理解し、自己の見解・感想を文章などで表現できる。	授業内容や資料を読んで、理解できる。	授業に出席して、教員の支援を受けて、授業や資料等の内容を理解できる。	授業には出席しているが、教員の支援を受けても、内容は理解できない。
(2)	興味を持った人物や事象について、課題として調べまとめる。	テーマを設定し、指定された内容だけでなく、関連する事象も含め優れた課題を提出する。	テーマを設定し、指定された内容をきちんと調べまとめた課題を提出できる。	テーマを設定して調べ、課題を提出できる。提出内容はやや不十分である。	内容を理解しテーマも設定できるが、調べたことを課題として提出できない。	教員の支援を受けても課題の内容が理解できず、テーマも設定できない。

(3)	自己のテーマに基づいた見学コースを作成・実施する。また、良かった点や問題点をあげ報告し自己評価する。	自己の問題意識にもとづいた見学コースを作成・実施する。報告や自己評価により、学業や研究への展望を示すことができる。	自己のテーマにもとづいた見学コースを作成・実施し、レポートとしてまとめ、適切な報告や自己評価ができる。	自己のテーマにもとづいた見学コースを作成・実施し、レポートとしてまとめられるが、報告や自己評価が不十分である。	教員の支援を受けて、見学コースを作成することができ、実施するが、レポートとしてまとめられない。	教員の支援を受けて、見学コースを作成するが、実施しない(できない)。
-----	--	---	---	---	---	------------------------------------

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%		35%	10%	10%		100%
(1) 主体的に学んでいる					10%		10%
(2) 課題を調べまとめる	10%		35%				45%
(3) 見学コースの作成と実施 (単位修得レポート)	35%			10%			45%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	課題は個々にコメントして返却。次回授業の際に全体像を学生に示す。単位修得レポート(案)は発表の際、講評する。						

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間(分) (※特別な持参物)	
1	新潟県の風土 ＜地理・特産物・伝統産業・食文化等＞	自己の出身地の風土についてまとめる。	120分
2	火焔土器のクニ ＜新潟の縄文時代＞	自分の出身地もしくは興味を持った縄文時代の博物館・資料館・史跡を見学し、感想をまとめる。	480分
3	古代の越後・佐渡 ＜県内の古墳と越後国・佐渡国のはじまり＞	県内の古墳や越後国・佐渡国の成立過程とその性格についてまとめる。	120分
4	鎌倉・室町時代の越後武士 ＜地頭の支配と南北朝時代の越後＞	自分の出身地(興味をもった土地)の地名の由来や歴史、もしくは武士のエピソードをまとめる。	180分
5	越後の鬼伝説を考える ＜まつろわぬモノと仏教＞	自分の故郷の(興味をもった)伝説や伝承もしくは史跡を紹介する。	180分
6	越後統一から江戸時代へ ＜上杉謙信・景勝と堀直寄＞	興味をもった戦国時代の人物や史跡、様々なエピソードなどについて調べる。	180分
7	「雪ありて縮あり」 ＜『北越雪譜』の世界＞	県内外の興味を持った伝統産業や文化人を取り上げ、調べる。	180分
8	越佐の学問 ＜長岡藩の医学と腑分(人体解剖)を中心に＞	自分の出身地もしくは興味をもった江戸時代の学問や学者について調べ、感想をまとめる。	180分
9	ペリー来航と長岡藩 ＜三傑(継之助・虎三郎・億二郎)の青年時代＞	自分の出身地や興味をもった地域や人物について幕末から明治維新期の歴史や生涯について調べる。	180分
10	河井継之助と北越戊辰戦争 ＜小説『峠』と史実＞ 単位修得レポートの説明	単位修得レポート(地域探訪コースの計画及び実施)案を作成する。	240分
11	「米百俵」と長岡の人材教育	自分が学んだ小(中)学校の創立と歴史を調べ、まとめる。	240分
12	◆三島億二郎の生涯と長岡の復興・近代化	外部講師の講演を聞き、感想をまとめる。	120分
13	東山油田と令終会・悠久山公園	長岡もしくは自分の出身地もしくは興味のある地域で、近代化や地域に貢献した先人を調べる。	180分
14	長岡空襲と花火 —長岡空襲に関するビデオ上映—	ビデオを見ての感想をまとめる。【受講者数が多い場合は単位修得レポート(案)の発表にする。その際は授業内容の資料を配布する。】	120分
15	単位修得レポート(案)の発表	単位修得レポート(案)を発表する。講評をふまえて単位修得レポートと自己評価は後日提出。	240分

⑫ アクティブラーニングについて

- ・当授業では講義と各課題の提出を基本とし、知識定着・確認型 AL/課題解決型 AL を行う。
- ・単位修得レポートでは、地域探訪コースの作成および実施による課題解決型 AL を行う。
- ・単位修得レポート及び第2講義の課題では、実際に博物館・資料館・史跡等を訪れる課題探求やフィールドワークによる課題解決型 AL を行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
高等学校の日本史教員および歴史博物館や資料館の研究員・学芸員として新潟県を中心とした地域史の研究活動と教育・普及活動をしてきた。関連の著作もいくつかあり、講演・講座等の活動も行っている。また、歴史研究会に所属し、地元の歴史の掘り起こしや様々な活動に携わっている。
実務経験と授業科目との関連性
新潟県を中心とした地域の歴史・文化・伝統産業の重要性や地域史を学ぶ意義と楽しさを学生に伝え、地元の資料を教材化して授業を構成することに取り組みたい。また、河井継之助、小林虎三郎、三島億二郎などの長岡の偉人の業績や、長岡大学周辺の悠久山をはじめとした地元の歴史も学生に紹介したい。学生それぞれの興味や関心にもとづいて、身近な歴史を調べる面白さも伝えたい。